



Contents

- *「第14回ブレース スマイル コンテスト」表彰式レポート
- *受賞者インタビュー

歯と歯並びの ニュースレター Vol.2

発行元
公益社団法人 日本臨床矯正歯科医会
〒107-0003 東京都豊島区駒込 1-43-9
(一財)口腔保健協会内
TEL.03-3947-8891 FAX.03-3947-8341
http://www.jpao.jp/
2019.3.31 発行



「第14回ブレース スマイル コンテスト」 表彰式がローズホテル横浜にて開催されました

ブレース(矯正装置)をつけた笑顔の写真を対象とする「ブレース スマイル コンテスト」(通称「ブレスマ」)。それは矯正歯科治療中の患者さんに、より前向きに治療に取り組んでもらうために開催されている写真コンテストです。去る2月20日(水)、ローズホテル横浜にて14回目となる「ブレスマ」受賞者の表彰式が開催されました。今回のニュースレターでは、その様子をご紹介します。



全国から寄せられた305作品の中から選出

「第14回ブレスマ」の募集テーマは、「元気いっぱい！ 矯正歯科治療、楽しんでます！」。今回は、全国の5歳から70歳までの幅広い年齢の方々から、305点もの作品が寄せられました。それらを厳正に審査した結果、**最優秀作品に輝いたのが中島和葉さん(15歳/愛知県在住)の「元気スマイル」**です。また、**優秀賞には伊藤心結さん(13歳/愛知県在住)の「思いっきりわらう！」**が、そして開催場所にちなみ、神奈川県在住の応募者から選出する**大会賞には、大塚志歩さんの「夏休み 笑顔はじける湘南の海」**(11歳/神奈川県在住)が選ばれました。

2月20日に開催された表彰式は、3名の受賞者が出席し、和やかな雰囲気で行われました。

整った歯並びになることへの期待と喜び

表彰式では、主催団体である日本臨床矯正歯科医会 会長、稲毛滋自が「矯正歯科治療は将来のための前向きな投資。今後も笑顔で矯正歯科治療を行う文化を広げていきたい」と挨拶。続いて受賞者の表彰が行われました。

3名の受賞者が壇上上がり、表彰状と花束を受け取ると大きな拍手が。

また、受賞者へのインタビューでは、大会賞の大塚さんが「今回応募した写真は、去年の夏、神奈川県湘南に遊びに行ったときにお母さんに撮ってもらいました」と受賞作品のエピソードを披露。優秀賞の伊藤さんは「矯正を始めたのは、小学生のときに観た劇団四季に憧れて、その舞台に立つため。みんなの前で思い切り笑えるようになりたいです」と治療にかける思いを語ってくれました。そして、最優秀賞の中島さんは、「矯正歯科治療を始めてから、今までよりも人と関わることが好きになりました。気持ちも明るくなって、前向きになれたと思います」と精神面でのプラスの変化を教えてくださいました。

受賞者の言葉からうかがえたのは「元気いっぱい！ 矯正歯科治療、楽しんでます！」というテーマそのものの、前向きな姿勢。整った歯並びになることへの期待と喜びにあふれた笑顔を、会場からのあたたかな拍手が包んでいました。



壇上でのインタビューに答える中島さん

contest
2018



左から
優秀賞の伊藤心結さん
最優秀賞の中島和葉さん
大会賞の大塚志歩さん

最終選考までの道のりって？

全国から寄せられた「ブレスマ」の応募作品は、まず一次審査にかけられます。第14回では、昨年10月4日に一次審査を開催。主催する矯正歯科医会と器材協議会、関係団体の方々で寄せられた写真とコメントを1点ずつ丁寧にチェックした後、12作品に絞られました。その後、11月1日・2日の日本矯正歯科学会会場にて行われた投票形式の二次審査で受賞3作品を決定。たくさんの素晴らしいブレースマイルの中から、受賞作を選ぶのは、矯正歯科治療の関係者にとって非常に楽しく、有意義な時間です。



「ブレース スマイル コンテスト」を主催する 公益社団法人日本臨床矯正歯科医会とは？

1972年の設立以来45年以上の活動実績をもつ国内最大規模の矯正歯科専門開業医の団体です。全国主要都市を中心に12支部を組織し、約450名の会員が所属しています。

当会では「ブレスマ」を主催するほか、矯正歯科治療を考えている一般の方に向けての書籍の監修・発行、参加費無料の市民セミナーの開催などを通じて、正しい矯正歯科治療の啓発に努めています。

『知れば知るほど！ 始めたくなる
おとなの矯正歯科BOOK』
日本臨床矯正歯科医会 監修
小学館スクウェア/952円(税別)

